



# みらいっうしん

9月号

2022年9月1日  
 田園調布学園大学  
 みらいこども園  
 園長 勝浦 芳子



## 【生きる力を育てる為に】

立秋を迎え、ようやく夏の暑さの折り返し地点を過ぎ、頬を伝う風が少しずつ秋の訪れを感じさせています。今月は、台風等の影響で不安定な天候が予想されますので、体調には十分お気をつけください。

さて、8月は例年になく猛暑で熱中症アラートまで発令されたり、局地的な大雨が降ったりと異常気象でその上、新型コロナウイルス感染にも歯止めが利かない状況になりました。こども園でも、園児、保護者、職員と感染者が確認され、新型コロナウイルスの感染力の強さに改めて怖さを感じています。そんな状況においても、無邪気で元気な子ども達は、園庭や保育室で好きな遊びを満足するまで楽しんでます。行動制限のない夏休み期間ということもあって、「おじいちゃんおばあちゃんに逢いに行ったよ」「温泉に泊まった!」「新幹線に乗った!」「大きいプールに行ったよ」「花火したよ」「どこにも行かなかったけどお家でゆっくりした」等々、夏休みに体験した沢山のことをうれしそうに話してくれる子もいて、それぞれが夏の季節を通して、一回り大きく成長したように感じます。この普段体験できない経験や感情は、子ども達にとって、きっと、これからの生活に豊かさを与えてくれるはずです。

本日より、1号認定のお子さんを迎え、2学期を無事迎えられたことに感謝したいと思います。今後も、現状の社会は、コロナウイルスと共存しながら強く生き抜くことを課せられていますが、園では、大切なお子さんの命をお預かりしておりますので、今までと変わらず、消毒・換気、お子さんの体調観察を徹底し、教育・保育を進めて参ります。ご家庭でも、家庭教育の重要性を受けとめ、親子のコミュニケーションの取り方や絆を深めていただき、将来を担う子どもたちを周囲の大人が手本となって一緒に「生き抜く力の基礎」を育てていきましょう。2学期は、行事も多く子ども達が、それぞれの力をステップアップする大切な時期です。今までと同じ形での諸行事の開催、実施は難しい場合もありますが、感染防止の観点から出来ることを精査し、一人一人の興味・関心に気づき“やってみたい”という気持ちを十分に満足させるために多くの体験が出来るように考えていきたいと思ひます。この乳幼児期に培ったものが、将来、自分で生きていける力に反映していけることを心から願ひます。

